

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岩手県

行事名称	第72回文化財防火デー消防訓練（江刺消防署管轄）
実施期間・日時	令和8年1月25日（日）午後2時～3時
実施場所	国指定重要文化財 旧後藤家住宅
主催者	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部江刺消防署、奥州市、奥州市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

午後2時頃、国指定重要文化財「旧後藤家住宅」の北側の林から不審火による火災が発生。発見時、「旧後藤家住宅」付近まで炎が接近している状態である。強風、乾燥注意報が発令中であり、北西の風が吹いているため、火災延焼拡大の恐れがあるという想定。

訓練の内容

旧後藤家住宅関係者による火災発見、通報訓練を実施。消防署及び消防団による放水訓練（連携した火炎防ぎよ、情報伝達・情報共有）・指揮隊連携訓練を実施。

参加者及び役割分担

奥州市教育委員会：通報、消防隊への情報提供、事前広報・記録、報道機関連絡

奥州市消防団：送水訓練・放水訓練・交通整理

江刺消防署：全体統括・安全管理・放水訓練

奥州市（危機管理課）：消防団担当・水利の確保・記録、道路使用許可申請

特に工夫した点

- ・消防団、消防署の連携
- ・距離のある防火水槽及び消火栓を水利とし、複数台車両を使用した送水訓練。

問題点・課題

厳寒期のため、降雪時には対象の建物とその周辺、道路などを除雪し、消火活動が迅速に行うことができる状況にする必要がある。また滑りやすくなるため、訓練中は特に注意が必要である。

道路を閉鎖のため、周辺施設への連絡調整と協力が必要。

その他

毎年、対象文化財を変えて防火訓練を行うことで、各地域の地元消防団と住民が文化財に対する愛護意識と防災意識を確認する機会になっている。今後も、消防署や消防団と協力して実施していきたい。

訓練風景



放水訓練